

事業番号	05 02 14	事業改善シート（28年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	ドクターヘリ運航事業			担当課	部局	健康福祉部	
					課・局・室	医療推進課	
総合5か年計画	プロジェクト				E-mail	<a href="mailto:iryo@pref.nagano.lg.jp">iryo@pref.nagano.lg.jp</a>	
	施策の総合的展開	6-1 健康で長生きできる地域づくり 4 医療施策の充実		実施期間	H17 ~		
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針						
	施策展開						

1 事業の概要

目指す姿	県土が広大で山間地域の多い本県では、全県をカバーする広域救急搬送体制の確保のため、ドクターヘリの運航が効果的であり、高度な救命処置を早期に開始することにより、救急患者の救命率の向上及び後遺症の軽減を図る。						
現状（予算編成時）	・基地病院を、佐久総合病院佐久医療センター（佐久市）、信州大学医学部附属病院（松本市）とする2機体制で運用 ・平成26年度は、出動件数が945件と平成25年度に続き900件を超えており、一方で、要請の重複による対応不能事案の割合は2.2%と成果が上がっている。						
県が関与する理由	県でなければ実施不可（内部管理） 県民との協働による実施：実施は困難		【左記の説明、根拠法令等】 救急医療用ヘリコプターを用いた救急医療の確保に関する特別措置法 救急医療対策事業実施要綱、医療提供体制推進事業補助金交付要綱				
成果目標・事業内容	① 成果目標（H28）  要請の重複による対応不能事案の割合 5.7%以下（要請の重複による対応不能事案数/全要請数）：1機体制の下の実績以下を目標とする。						
	② 事業内容（単位：千円）						
	項目	実施方法	H28事業実績		H28		H29
				（当初）	（決算）	（当初）	
	ドクターヘリの運航	補助	ドクターヘリの運航に要する経費に対して助成	436,382	436,382	498,562	
	電波利用料負担金	直接	ドクターヘリの運航に係る無線局の電波利用料	15	15	15	
	無線局再免許申請料等	直接	ドクターヘリの運航に係る無線局再免許申請手数料（免許有効期間：5年）	14	0	0	
			合計	436,411	436,397	498,577	
事業コスト	区分（単位：千円）		27年度	28年度	29年度		
	予算額	前年度繰越					
		当初予算	434,797	436,411	498,577		
		補正予算					
		合計（A）	434,797	436,411	498,577		
	Aの財源	一般財源	217,407	218,221	249,297		
		県債					
		国庫支出金	217,390	218,190	249,280		
		その他	0	0	0		
	決算額（B）	434,797	436,397				
概算人件費	職員数（人）	0.30	0.30	0.30			
	概算人件費（C）	2,483	2,374	2,374			
概算事業費（B（A）+C）	437,280	438,771	500,951				
成果目標の達成状況	項目	H26末	H27末	H28		H29	
				目標	成果	達成状況	目標
要請の重複による対応不能事案の割合	2.2%	2.9%	5.7%	2.9%	達成	5.7%	
目標に対する成果の状況	要請の重複による対応不能案件の割合については、平成23年度中に2機目を導入し、2機が連携することで、平成24年度以降毎年度目標を達成している。						

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	救急医療の確保のためドクターヘリは需要であり、一定の成果を挙げていることから、引き続きドクターヘリの円滑な運航を図っていく。